



2025年度 活動計画(案)

樹木・環境 ネットワーク協会

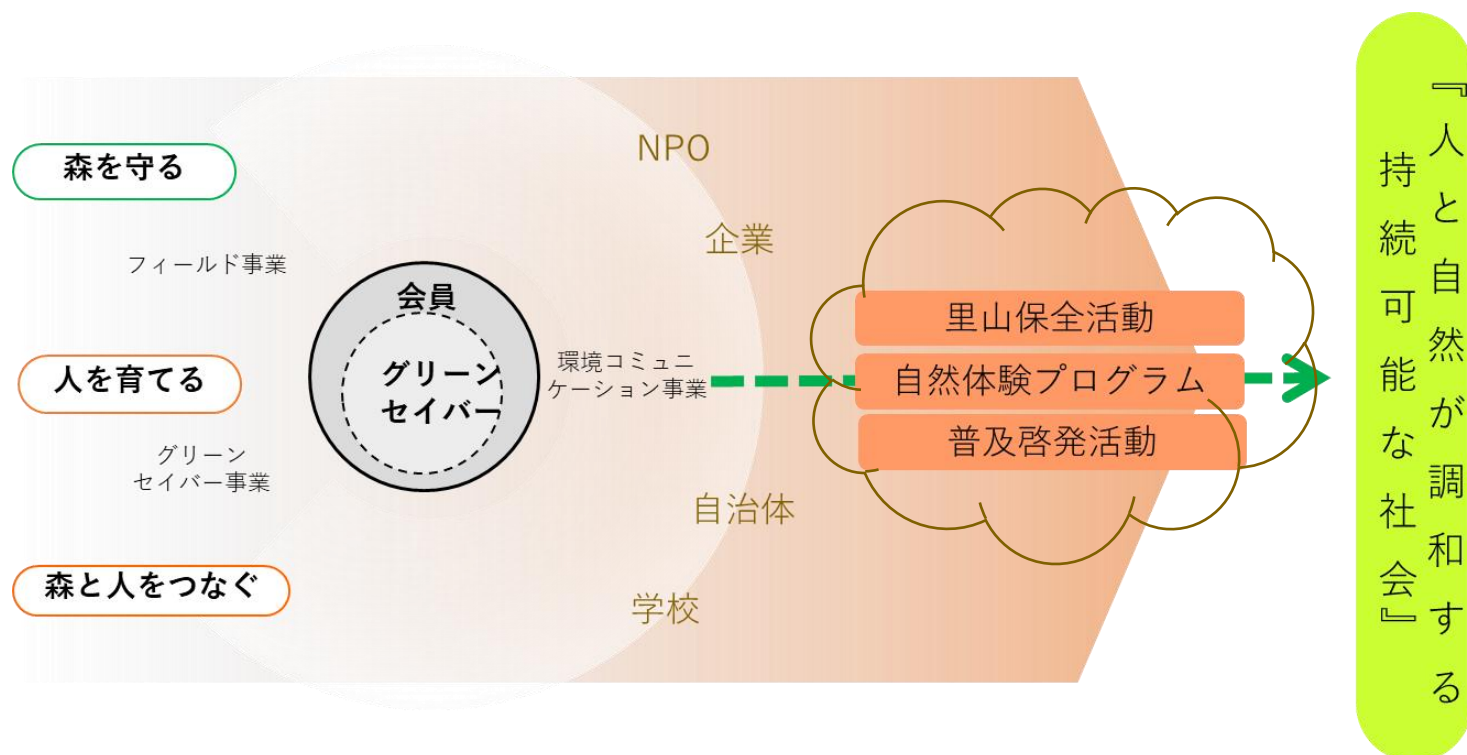




持続可能な社会へどうつなげるか

2025年度は、私たちの活動が始まって30年目を迎えます。会員の皆さんはじめ、これまで一緒に活動をしてきた多くの仲間、組織の皆さんに感謝するとともに、これからの10年、20年を実りあるものにするために、気持ちをひきしめて歩み続けていきたいと考えています。活動の拡大とともに、さまざまな課題も見えてくると思いますが、それを一つ一つ克服し、さらに成長できるように努めたいと考えています。

どこを目指しているか、何を大切にしているかを忘れることなく、引き続き、私たちの活動がよくわかるように発信し、実行していくことが大事だと考えます。知ってもらうことを出発点とし、多くの人とともに歩み、持続可能な社会にどうしたら近づけるかを一緒に考え、つくり上げていくことを目指していきます。





森を守る



継続的な森林保全活動

生物多様性の保全への関心が高まる中、保全活動の重要性はますます大きくなっています。24年度に引き続き25年度も全国15か所でのフィールドで、継続的な保全活動を推進してまいります。

2025年度 フィールド

- 01.町田 三輪里山
- 02.多摩動物公園雑木林 TAMAZO
- 03.武蔵野の森から学ぼう
- 04.千葉おぐらの森
- 05.嵐山ふれあいの森
- 06.二宮蜜柑倶楽部
- 07.ハケ岳ワーキング
- 08.交野・森フィールド
- 09.レッツ久宝探検隊
- 10.和歌山ワーキング
- 11.本町田宿ふるさとの森
- 12.庵山ふれあいの森
- 13.嵐山TLCの森
- 14.UNISOLの森
- 15.清泉女子大学の森

フィールド活動の活性化

里山の恵みを使う・楽しむ

里山は従来、人の利用により豊かな環境が保たれてきました。整備・保全活動では、除草や伐採により、里山で行われてきた整備を進めつつ、自然の利活用の取り組みも行っていきます。

地域に開かれた里山活動

従来より誰でも参加できる活動として間口を広げています。三輪里山、本町田宿ふるさとの森、レッツ久宝探検隊、和歌山フィールドでは、地域参加の活動も増えてきました。近隣との関係を大切にしつつ、地域のコミュニティ醸成にもつながるフィールドになるよう、柔軟な受け入れを行っていきます。

生物の現状把握と整備の評価

フィールド活動の中で、自分たちで植物、昆虫などの現状調査を行い、データを蓄積し、整備による環境変化を評価する活動は従来より実施されていましたが、新たにその動きが広がっています。調査のスキルアップや現場を見る目を養うとともに、データの解釈を検討し、整備の効果をどう評価していくか、改めて試行錯誤しながら考えていきます。

自然共生サイトへの登録推進

30by30に向けた取り組みの一環として、自然共生サイトへの登録が各地で進められています。フィールドでの保全活動はいずれも登録するのに適しているものと考えており、各フィールドの特性により登録を検討し、進めていきます。

安全管理の連携を

フィールド活動では、常に安全面のリスクが少なからずつきまといます。それでもできるだけリスクを取り除くことができるように一人ひとりが心がけながら活動できる風土づくりが重要だと考えます。

その仕組みづくりとその実践を、一般の参加者、フィールドのメンバー、事務局がそれぞれの立場で理解し、実行していくことが求められます。

それぞれの立ち位置での安全管理上の役割・行動を連携しながら推し進めていきます。



GSの自主的企画の活性化

ネイチャー・カルチャー検定にCBT方式を導入し、セミナーもオンライン化したことで、全国から受検が可能になった一方で、直接、受検生や合格者の皆さんと顔を合わせる機会が減りました。GS企画を推進するメンバーの減少を補う、新たな人材の育成も課題となっています。

これらの状況をふまえて、GSの活動支援について引き続きHPやメルマガ、SNSで定期的に呼びかけるとともに、フィールドやイベント等でも積極的にコミュニケーションをとり、人材の発掘、活動の活性化を図りたいと考えています。

グリーンセイバー資格検定

グリーンセイバー資格検定

ネイチャー&カルチャー試験のCBT方式を継続

全国どこからでも受検できることを目指し、2023年度から開始したCBT試験方式（全国の受験会場からパソコンを使って受験する方式）を、2025年度も引き続き実施します。

2024年度と同様、さらなる受検者数増加を目指し、受検期間を2週間とし、その期間中、いずれの時間帯も選べるようにします。

また、2024年度から、グリーンセイバー検定の周知のための広報の強化に取り組んできましたが、引き続き、SNSやGoogle検索による情報発信を積極的に進めます。

企業やイベント参加者への周知

フィールド活動やイベントに参加される企業関係者の方々や、一般の方々に、協会のことをよく知ってもらい、会員になって頂くようにPRすると同時に、グリーンセイバー検定のことも広く周知していきます。

公式テキストはじめ、GS検定のセミナーや、CBT方式の受験について情報を積極的に提供して関心を持ってもらい、受検へのサポートをしていきます。





協働事業の拡大と推進

法人・企業との協働活動

企業が事業との関連を強めながら生物多様性保全の活動を検討する機会も増えています。そうした企業に対し、活動の提案や受入を行い、自然環境と社会との関係性を創出する機会をつくります。

学校との環境教育

自然に触れる時間は、子どもたちへの心と体の成長に欠かせないものです。各地の小中学校での環境学習の協力とフィールドを活かした体験学習を引き続き提案していきます。

自治体・行政との協力事業

海の森公園・公園管理

グランドオープンした海の森公園。指定管理者である海の森公園パートナーズと協力し、公園管理をスタートさせました。

公園の管理から自然情報収集、公園PR、来園者サービスの向上など、公園の運営の一端を担うことになっています。また関連事業は継続的にコーディネートを行い、公園管理と連携した活動を推進していきます。

海の森関連事業（東京都委託事業）

- ・海の森公園ボランティア コーディネート
- ・海の森子どもレンジャー 育成・運営

まちだみどり活用ネットワーク

まちだの“みどり”を活用した官民連携活動「まちだみどり活用ネットワーク」のバッグオフィス業務を受託し、町田市内のみどりにかかわる活動の連携・活性化に向けた取り組みを推進しています。設立より3年目を迎え、今年度は例年の実行委員会支援と共に、持続化を見据えたワークショップを企画し実施予定です。また、自走化に向け、同様の中間支援組織との交流会の実施や町田市イベントへの出展も予定しています。

今年度の活動計画

- ・市内の関連団体と連携した地域イベントの開催
- ・里山の自然を体験するワークショップの実施
- ・市内のみどりスポットのマップの作成
- ・持続化に向けたワークショップの開催
- ・中間支援組織との交流会の実施



30周年記念プロジェクト

記念イベントの開催

2025年9月19日に創立30周年を迎えるにあたり、これまでの歩みを振り返り、会員、関係者の皆さんへの感謝を伝えるためのプロジェクトを展開します。

30周年記念ロゴをデザインし、ステッカーなどの記念グッズを作成。聚レター172号、173号で特集を組むとともに、9月20日には記念イベントを実施する予定です。当日は、活動を支えてくださった皆さんとともに、思い出と今後の展望を語り合いたいと思っています。ぜひご参加ください。

広報・情報共有

情報発信・共有ツールのブラッシュアップ

HP、会報誌、メルマガ、SNS等、これまで使用してきたツールに加え、幅広い世代の会員、スタッフの意見も取り入れながら、新たなツールも活用していきたいと考えています。

google や SNSへの広告出稿により、不特定多数の人の目に触れるチャンスの増加は期待できますが、そこから誘導されたHPが魅力的でわかりやすくなければ、次の行動につながりません。他のツールとの連携も意識しながら、情報発信の基盤としてのHPの役割をあらためて重視し、活動の意義や楽しさを伝えるコンテンツをさらに充実させたいと考えています。



事務局運営

雇用条件・勤務体系の見直しと スムーズな業務遂行のための体制づくり

新規事業の拡大によりスタッフを増員します。また、経験、スキル、勤務スタイルがさらに多様化したため、雇用条件・勤務体系の見直しを実施。勤務内容を適切に評価し、給与に反映させる仕組みを整えます。

海の森公園ビジターセンターでの勤務がスタートしたことに加え、まちだみどり活用ネットワークや清泉の森のイベント、CSR活動受け入れの増加など、仕事の量、質ともに変化をしています。会員管理や受付業務といった事務局内での作業が滞ることのないよう、より一層の効率化とマニュアルの充実をはかるとともに、事務局内の円滑なコミュニケーションと情報共有にも引き続き取り組んでいきます。

安全管理の強化

これまでも安全管理に努め、体制やルール、様々なツールの開札と利用をしてきましたが、昨年度に発生した事故を受けて、改善点を見出し、再発防止と安全管理のための取り組みを見直し、より一層強化してまいります。

様々な面から検討、協議、調整を重ね、活動前のミーティングでの確認、安全カードの収集、緊急時を想定したシミュレーション等をより厳密に実施することを再確認。さらにヒヤリハット・事故の情報の蓄積と共有化を目的に、報告フォームを設定し、情報収集・共有をよりスムーズに行えるようにしました。

HPやML等でも随時、啓発、周知、報告し、参加者に対しても注意喚起を徹底してまいります。ご理解、ご協力のほど、お願いいたします。



2025年度 予算計画

◆支出の部 ※固定費を含む			
項目	2024年度実績	2025年度予算	主な活動
総務・管理	5,668,105	6,000,000	固定費、会員管理、日常業務 等
事業支出	¥27,575,710	¥33,900,000	※以下4事業の合計
内訳) グリーンセイバー事業	1,967,494	1,900,000	検定、セミナー、見直し検討 等
内訳) フィールド事業	3,700,825	4,000,000	フィールド活動推進、法人・団体との活動経費
内訳) 環境コミュニケーション事業	8,518,807	8,000,000	法人・団体との活動経費
内訳) 行政委託	13,388,584	20,000,000	行政からの委託事業
広報	3,434,010	3,400,000	会報誌・ホームページの作成と運営
法人税・住民税・事業税	150,000	150,000	法人税、住民税、事業税 等
支出の部 合計	¥36,827,825	¥43,450,000	

◆収入の部			
項目	2024年度実績	2025年度予算	主な活動
会費	¥2,537,000	¥2,740,000	
正会員	2,500,000	2,700,000	個人、家族、法人、団体
準会員	37,000	40,000	賛助、学生
寄付	3,046,868	2,000,000	個人、企業寄付 等
事業	¥39,056,378	¥45,500,000	
内訳) グリーンセイバー事業	1,563,809	2,000,000	検定、セミナー、過去問・テキスト販売、GS企画
内訳) フィールド事業	5,229,879	5,500,000	フィールド活動委託、法人・団体等の活動受け入れ
内訳) 環境コミュニケーション事業	13,597,690	13,000,000	活樹祭、他団体との協働活動やコーディネート
内訳) 行政委託	18,665,000	25,000,000	海の森公園、まちだみどり活用ネットワーク 行政委託事業
その他収益	253,169	200,000	事業外助成金、その他
収入の部 合計	¥44,893,415	¥50,440,000	

前期正味財産	¥18,782,894	¥26,848,484
当期正味財産増減額	¥8,065,590	¥6,990,000
正味財産合計	¥26,848,484	¥33,838,484

◇固定費の内訳（参考） ※支出に含む		
人件費・通勤費・福利	14,982,541	25,000,000 事務局、アルバイト人件費、および通勤費
地代家賃	1,953,600	1,953,600 東京事務局ビル
光熱費・リース代 他	1,630,569	1,600,000 通信運搬、水道光熱費、リース代、保険代
社会保険、労災保険	136,605	150,000
租税公課	1,976,500	3,000,000 法人税・消費税納付
固定費合計	¥20,679,815	¥31,703,600

- ・海の森公園管理の委託により、人員の増員を行う
- ・まちだみどり活用ネットワーク関連事業の継続
- ・環境コミュニケーション事業、フィールド事業の活動の拡大と推進
- ・グリーンセイバー資格検定は受験者獲得を目指して広報等を拡大

【顧問】山本 光二	樹医
【顧問】澁澤 寿一	前理事長
【理事長】清水 善和	駒澤大学総合教育研究部元教授
【専務理事】佐藤（中西） 由美子	グリーンセイバー・マスター
【理事】小久保 広宣	関西聚スタッフ
【理事】築野 敬二郎	株式会社アテナ 執行役員
【理事】岡本 俊彦	グリーンセイバー・マスター
【理事】片山 雅男	神戸教育短期大学児童教育学科元教授
【理事】川端 自人	グリーンセイバー・マスター
【理事】小林 健人	NPOフュージョン長池 理事
【理事】後藤 洋一	事務局長
【理事】塚本 秀貴	グリーンセイバー・マスター
【理事】広瀬 攻	三輪里山フィールドリーダー
【理事】松浦 晃	株式会社 つくば林業
【監事】三尾 隆志	公認会計士
【監事】吉田 寛	公認会計士 公会計研究所 代表

【事務局スタッフ】

専務理事	中西 由美子	スタッフ（東京）	鹿嶋 晶子
理事・事務局長	後藤 洋一	スタッフ（東京）	千野 公弥
スタッフ（東京）	石崎 庸子	スタッフ（東京）	赤木 君禎
スタッフ（東京）	加藤 武	スタッフ（東京）	澤野 海星
スタッフ（東京）	中西 規章	スタッフ（大阪）	山本 睦子
スタッフ（東京）	大西 智野子	スタッフ（関西）	小久保 広宣
スタッフ（東京）	小口 純子		
スタッフ（東京）	松尾 茉里子		
スタッフ（東京）	天野 達郎		
スタッフ（東京）	田島 泰子		







団体概要

【組織】

団体正式名称 特定非営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会
設立 1995年9月19日
ホームページ <https://www.shu.or.jp/>

○東京事務局

[住所] 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-6
日本分譲住宅会館ビル8階南
[Tel] 03-5244-5447 [Fax] 03-5244-5448
[Mail] info@shu.or.jp

○大阪事務局

[住所] 〒576-0033 大阪府交野市私市5丁目17番11号
[Tel] 072-893-1716 [Fax] 072-892-3247
[Mail] kansai.syu1@nifty.com
[HP] <http://kansaisyu.o.oo7.jp/index.html>